



兵庫医科大学医学部薬理学講座

北岡 志保

2021年4月1日に兵庫医科大学薬理学講座5代目の主任教授として着任しました。本学は開学当初単科大学でしたが、開学50周年を迎えた2022年に兵庫医療大学と統合し、医学部、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部を有する医系総合大学に生まれ変わりました。医学部では研究マインドの涵養を目的として、本学独自の「研究医コース」を設置しています。医学部2年生が基礎系講座に配属され実習を経験した後、3年生から「研究医コース」に進むかどうかを選択します。今年度から研究医コースの学生が研究室に参加し、研究室の活動に参加しながら、学生のペースで医学部の勉強に励んでいます。

本学の医学部キャンパスは武庫川が流れる兵庫県西宮市にあります(図1)。西宮市は兵庫県東部に位置し、阪神タイガースのホームグラウンドである甲子園球場があります。また、六甲山の山麓からの湧き水を利用した日本酒の醸造が盛んで、山中伸弥先生がノーベル賞を受賞された際の晩餐会で提供された「福寿」の蔵元などがあります。西宮市は文教都市でもあり、市内に多数の大学があります。その一つである関西学院大学と本学は2007年に包括協定を締結しており、教員や学生が教育や研究において多面的に交流しています。その一環で、関西学院大学理工学部の学生が本学の研究室に所属し、卒業研究に従事したり、大学院生活を過ごしたりすることができます。このシステムを利用して、昨年度から関西学院大学の学生が当教室にも所属しています。

私は1995年に大阪大学工学部応用自然科学科に入学し、修士課程までは人工核酸の研究をしていました。博士課程から医学研究に足を踏み入れ、国立循環器病センター研究所薬理部で医学研究のトレーニングを受けました。博士課程2年次に京都大学医学部薬理学講座に異動しました。当

時、シクロオキシゲナーゼやプロスタノイド受容体に関する研究をしており、神戸で開催された第78回日本生化学会大会で初めて学会発表をしました。京都大学で医学博士を取得した後、京都大学iPS細胞研究所や京都大学医学部薬理学講座でポスドクとして過ごしました。その後、神戸大学医学部薬理学分野の助教・講師を経て、本学に着任しました。神戸大学在籍時には日本生化学会誌のミニレビューの執筆をお手伝いし、本学に着任してからは日本生化学会大会のシンポジウムでの発表やThe Journal of Biochemistryに原稿を掲載していただく機会をいただきました。

学生の頃から、疾病ストレスや心理ストレスによる脳機能変化の解析を進めてきました。脳以外の疾患が脳機能に影響することや、心理ストレスが脳以外にも広く全身に影響することから、現在は心理ストレスによる心身の機能変化の解析を進めています。現在、教室には教員4名、大学院生1名、医学部生2名、関西学院大学の学部生1名、研究補助員2名の総勢10名が在籍しています(図2)。着任から2年が経過し、専門分野が異なる教員が各自の専門性を活かしながら、また、学内外の先生方と共同研究をしながら、ようやく研究が進み始めました。

これまでの人生で出会った多くの先生方から影響を受け、現在の研究者・教育者としての私が形成されたことは間違いありません。今後は研究室の主宰者として、教室員にとって人生の糧となるよう尽力したいと思います。ようやく通常の学会参加が可能となりましたので、日本生化学会の先生方と交流できることを楽しみにしております。最後になりましたが、学会誌での研究室紹介の機会をいただき感謝申し上げます。



図1 武庫川から見た兵庫医科大学



図2 教室員